

令和7年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
子どもの遊びと運動				演習		宮原千秋	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1	1	30	15	後期	幼児: 選択	保育士: 選択必修	
<p>[授業の目的・ねらい] 子どもが遊びを通して心身ともに健康であるために、保育者として必要な役割を知る。 運動遊びを通して子どもが楽しむことを目的にし、年齢に沿った活動内容の研究し、現場で実践できる能力を養う。</p>							
<p>[授業全体の内容と概要] 体操やダンス、集団遊び、マット、ボール遊びなどの子どもの遊びを自らが実践をし心豊かに楽しむ経験をする。そのうえで他領域との関係性も考慮しながら総合的にねらいが達成できるような運動遊びの指導計画を作成し、模擬保育を実践し、振り返りをして学ぶ。</p>							
<p>[受講上の注意事項] 体を動かすことができる服装で受講する</p>							
[使用テキスト] 保育と幼児期の運動遊び(萌文書林)				[評価基準] 受講態度(取り組み・出席状況・身だしなみ) 提出物			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目			授業内容			
1	オリエンテーション			授業の目的と授業内容の把握			
2	子どもの体操、ダンス①			体操やダンスをしながら子どもの身体能力との関係を知り、楽しみながら実践する。			
3	子どもの体操、ダンス②			体操やダンスをしながら子どもの身体能力との関係を知り、楽しみながら実践する。			
4	子どもの体操、ダンス③			体操やダンスをしながら子どもの身体能力との関係を知り、楽しみながら実践する。			
5	フラフープ、ボール遊び			運動に苦手意識をもたず、楽しめる保育者の役割とは			
6	縄遊び、新聞紙遊び、身近なものの遊び			運動に苦手意識をもたず、楽しめる保育者の役割とは			
7	模倣遊び、マット、跳び箱			運動に苦手意識をもたず、楽しめる保育者の役割とは			
8	サーキット遊び			運動に苦手意識をもたず、楽しめる保育者の役割とは			
9	鬼遊び、集団遊び			いろいろな種類の鬼遊びを体験し、楽しく体を動かしながら子どもの基礎運動能力を高めることを知り、実践する。			
10	鬼遊び、集団遊び			いろいろな種類の鬼遊びを体験し、楽しく体を動かしながら子どもの基礎運動能力を高めることを知り、実践する。			
11	グループワーク①			体を使って楽しめる遊びをグループで一つ決め、それぞれ役割を決め、指導案作成、模擬保育として実践、振り返りをする			
12	グループワーク②			体を使って楽しめる遊びをグループで一つ決め、それぞれ役割を決め、指導案作成、模擬保育として実践、振り返りをする			
13	グループワーク③			体を使って楽しめる遊びをグループで一つ決め、それぞれ役割を決め、指導案作成、模擬保育として実践、振り返りをする			
14	グループワーク④			体を使って楽しめる遊びをグループで一つ決め、それぞれ役割を決め、指導案作成、模擬保育として実践、振り返りをする			
15	まとめ			まとめ			
実務教員としての経歴		幼稚園教諭として幼稚園に勤務8年（うち認定こども園で主幹保育教諭として1年）					
実務経験と授業の関連		幼稚園教諭としての経験を活かし、子どもの遊びと運動について必要な知識と技術を養う。					